

I C T 実践レポート

各務原市立蘇原中学校 森原 秀雄

学年	第2学年、第3学年
教材	数学のオリエンテーション→毎時間の授業
活用した ソフトアプリ	・PowerPoint ・デジタル教科書 ・ロイロノートスクール
活用の場面	・毎時間の数学の授業での活用
活用した I C T 機器	・教師用 ipad ・生徒一人一人の ipad ・大型テレビ
活用の実態	<p> ・数学の学習のオリエンテーションの際に、PowerPoint を使い ロイロノートを活用した授業をどのように進めていくかを説明した。 ・授業の流れを右の[資料1]のように提示して生徒が1時間の 見通しをもてるようにした。 </p> <p> 【2. 授業について】 1 本時の見直し+課題 5分 2 教科書タイム 15分 [自分の力で教科書の問題に取り組む] 3 スキルアップタイム 15分 [困ったところを聞いたり、相談したりする] 4 Tタイム 3分 [本時の考え方の大切なポイントを押さえる] 5 レベルアップタイム 7分 [活用したり、理解を深めたりする問題] 6 まとめ(評価問題) 5分 ※時間は目安です。みんなで考えていきましょう！ </p> <p> 【活用1】 単元の最初に単元で学習することの見通しをもち、 単位時間ごとにどのようなことを学習するかを明らかにしてから単元の学習を始めていった。 事前に次の 3 点をロイロノートの資料箱に入れ、生徒たちが学習の際にいつでも自分から、ヒントを 得たり、発展的な問題に取り組んだりできるようにした[写真1]。①単元の学習の流れ ②教科書の 答え ③レベルアップ問題[本時の学習を活用したり、理解を深めたりする問題→単位時間ごとに教 師が作成。]また、生徒が自分の解答を提出箱に提出するようにして、お互いの考え方を見られるよう にした[写真2]。 【活用2】 ロイロノートの提出箱とテキストの色を活用して、学びの経過を提出してお互いに現在の状 況を確認できるようにした。①ピンク色[終わっていない問題や、分からない問題がある] ②黄色[教 科書の問題は解くことができた] ③水色[発展問題も解くことができている 解き方が分かっている] ④青色[ワークも解けている どの問題も説明できる]。スキルアップの時間では一人一人がロイロノ ートのお互いの付箋の色をもとに、仲間に聞きに行ったり、相談し合ったりするようにした[写真3]。 </p> <div data-bbox="316 1361 683 1641"> <p>[写真1 資料箱を活用する生徒]</p> </div> <div data-bbox="699 1361 1106 1641"> <p>[写真2 お互いの考えを見られる提出箱]</p> </div> <div data-bbox="1114 1361 1481 1641"> <p>[写真3 タブレットを活用し仲間と学ぶ生徒]</p> </div>
生徒の反応	・どのように解いたらよいか困った際に、自らロイロノートの資料箱からヒントを求めたり、発展問題 に率先して取り組んだりすることができた。 ・仲間と多くの交流を行うことができるため、分からない問題の解き方を聞いたり、相手に分かりやすく 説明したりする姿がみられた。
振り返り	○自分の学力に合わせて、自ら学習する姿を生み出すことができた。また、多くの仲間と関わること で、問題の解き方の理解を深めることができた。 ●一人一人が学習を進めることができたが、個に応じた指導をもっと丁寧に行っていくことが必要。ま た、仲間と交流はしているが、協働的に学んでいるとはなかなか言えない姿がある。どのような授業 の展開を行うとよいかを今後も検討していく。